

公益社団法人私立大学情報教育協会  
平成26年度第1回大学職員情報化研究講習会運営委員会 議事内容

- I. 日 時：平成26年4月22日(火) 10:00から12:00  
II. 場 所：アルカディア市ヶ谷(私学会館)  
III. 参加者：木村委員長、久保田副委員長、遠藤委員、志田委員、深谷委員、鈴木委員、  
吉田清委員、大竹委員、毛利委員、齋藤委員、吉田浩委員、正木委員、  
柿本委員、川崎委員  
事務局：井端事務局長、野本(記)

#### IV. 検討事項

##### 1. 基礎講習会開催要項の検討について

講習会では、私学の努力により日本をよくするため、大学の力を結集してそれぞれの大学の良さをコーディネートし、最高のプログラムを提供したい。下記の意見があり、開催要項は情報提供者を後日確定させ、オリエンテーションの追加など文章の一部を更新して発行することが確認された。

- ・ 開始の部分では、後の情報提供につなげるため、イントロダクションを10分、オリエンテーション10分の配分を設定することにした。
- ・ 情報提供の一つめが未確定であったため、委員校に検討を依頼することにした。内容は大学の業務改革、教育改革におけるICT活用の基本的なことを紹介することになっている。
- ・ 二つめは、クラウドについて私情協の大学情報システム研究委員会のまとめを活用して、災害対策などの事例も含めて基礎的なレベルとしてICT活用の例とすることにした。
- ・ 三つめは、予習をさせる仕掛けで課題本を出し、授業ではグループ学修を行うことで、LMSも活用した、事前・事後学修を含むアクティブ・ラーニングの取り組み。
- ・ グループ討議では、人材育成の社会的使命・役割を気づかせることにしていた。講習会としては、結論を求めない、考える場、いろいろな人と議論する、気づかせる場として運営しても良いのではないかと。結果を求める傾向にあるが、どのような職員を求めるのか夢をもたせることができないか。
- ・ グループ分けは、業務別がよいか、レベルの違いがある、リーダーに引っ張られることがあるなど、毎回問題点として指摘がみられる。
- ・ 大学に夢を持って入ってきた職員が意気消沈しないよう、次のステップに行くよう、気づき・新しい発想が出てくれば良い。
- ・ 事前研修は、参加者を意識した資料として、最低理解してほしい範囲に絞ってはどうか。大学がどの方向に向かっているのか、「大学改革実行プラン」を中心に理解させてはどうか。国の資料は2つ程度でどうか。1～5年の入職者は、知識がないこともあり、基礎や目に見えたものはわかるが、文科省の資料を現状で理解しているのかは不明である。
- ・ 情報提供は必要だが、事例は興味があれば見てもらうことにしてはどうか。参考資料を多くしてはどうか。必須は減らしてはどうか。モチベーション、導入部分の資料が必要ではないか、見たかどうかの確認はするか、詳細の組み立てが必要かなどの意見があった。
- ・ 職場の問題点を持参してもらおう。考える視点を与えて、問題意識を出させることが必要ではないか。自大学の26年度の事業計画を読んできてもらってはどうか。
- ・ 前提知識としては、昨年の応用コースの基調講演映像資料を利用することにした。また、事例については、過去のものを利用せずに、キーワードを並べることに留めて、各自勉強してもらおうことにした。

##### V. 今後の対応

- ・ 基礎講習会コースの開催要項は5月中旬までに発送し、必要によって打合せ会を予定することにした。次回の委員会はメールで調整を行うことにした。